

平成 30 年度 広島県立呉特別支援学校 役員会 だより vol. 191

広島県立呉特別支援学校
PTA・教育振興会

平成 30 年 9 月 5 日実施分

呉特別支援学校 〒737-0911 広島県呉市焼山北三丁目 22 番 1 号

TEL (0823) 33-0300 FAX 33-0308 <http://www.kure-sh.hiroshima-c.ed.jp/> E-mail kure-sh@hiroshima-c.ed.jp

PTA 会長より

7 月の西日本豪雨で被害にあわれた方々、そして大変な思いをされたすべての皆様にお見舞申し上げます。
災害のあとは台風続きで、なかなか落ち着いた気持ちになれませんでした。道路の復旧や電車の運転再開等、うれしいニュースもあります。
私たちも元気を出して、頑張っていきましょう！

校長先生より

おはようございます。大変な思いをされた方が多かったのではないかと思います。学校側でできることは何かといつも思っていたのですが、足りないことばかりで申し訳ないと思っております。

矢野安浦線が開通したので、9 月 10 日(月)からは、通常のスクールバス運行をしたいと思っております。自力通学の方々も、今はスクールバスに乗って登校していましたが、公共交通機関の利用に戻していただくようお願い致します。「通常」という言葉が使えることがとても重いことだと、この 2 ヶ月のあいだ思っていました。通常ではないことに対して、職員も頑張っていました。子どもたちもいろんなことに遭われていると思いますので、お気持ちをお聞かせください。

災害が起こった時に、子どもたちを保護者の方々に引き渡すということを訓練しました。昨年度ご記入・情報提供していただいた「緊急時児童生徒引渡しカード」の内容を元に訓練しました。初めてのことで、色々な課題があがってきました。カードの改善等、いろんな意見が出ています。皆様に書いていただいて成立することなので、御負担をおかけすることになりますが、動きがあることを知っておいていただければと思います。

災害対策として、子どもたち全員にヘルメット購入の予算がついたので、準備していきます。備蓄用の食料品を入れる袋・コンテナにも予算がつきました。食料等、袋・コンテナに入れるものは保護者の方々に準備をお願いします。10 月の懇談時に持ってきていただき、学校内に置いておこうと思っておりますので、御協力よろしく願い致します。

平成 30 年度の学校経営計画を立てて目標を達成するためには、このような事業を学校でやっていきたいということを広島県教育委員会へ予算措置をお願いし、満額つきました。正門の外側に掲示板を設置しました。地域から認めていただく学校を目指すということで、学校の様子や行事等と呼びかけるものが欲しいということで、掲示板を設置しました。また、正面玄関から入ったところに、電光掲示板のウェルカムボードを文化祭までに設置する予定です。

図書室にある本を整理しています。パーテーションを閉めて、いつでも図書室として使えるようにしようと思っています。例えば、小学部の児童であれば、寝転がりながら読めたりするスペースも作れたらよいなと考えています。

ベルマークの助成財団から 30 万円の寄付として、マイクとポータブルスピーカーをいただきました。研修会等で使っていただければと思います。

開校 40 周年の記念式典に関わる実行委員会の第 1 回目の会議を開催しました。PTA の役員の方々からも入っていただき、実行委員会を立ち上げました。来年度の記念式典に向けて動いていきます。御協力よろしく願い致します。

平成 31 年度使用教科用図書選定について、教務部 児島から説明します。

説明：学校では、毎年 6 月から 7 月にかけて来年度の教科用図書を選定します。本校では、管理職と教務部主任、各学部の教務部、教科用図書担当者を構成メンバーとし、教科用図書選定委員会を設置しています。委員会では、本校の児童生徒にとってよりよい教科用図書を選定するように協議を行っております。広島県教育委員会の採択基本方針にのっとり、選定資料を参考に十分な調査研究に基づいて選定し作成した採択申請書及び選定理由書を教育委員会に提出いたします。教科書の選定にあたりまして、公正確

保に十分留意し、児童生徒の発達段階に応じた選定を行っております。さらに、学部内・学部間の系統性を重視して選定していきます。学習指導要領に示された「特別の教科 道徳」の目標や内容にのっとり、本校の児童生徒に最も適切な教科用図書を選択します。平成30年度は小学部が採択し、平成31年度は中学部が採択します。「特別の教科 道徳」について、中学部を例に説明します。中学部単一障害では、「みんなのためのルールブック あたりまえだけど、とても大切なこと」を選定しました。社会生活において必要なルールやマナーを50のルールとして紹介しています。親しみやすい言葉とイラストで表現されており、場面をとらえやすいため適切であるという理由で選定しました。中学部重複障害Ⅰ類型では、「スイミー」を選定しました。海の中の赤や青い色の魚たちが自分の特徴に気づき、友達と助け合い力を合わせることでやりとげることができたという内容であり、適切であるという理由で選定しました。中学部重複障害Ⅱ類型では、「みんなみんなみつけた」を選定しました。しかけ絵本のページをめくり、次々に動物を見つけながら友達を最後まで探そうとする登場人物の態度に共感を持ちやすい内容であり、友達と仲良くし助け合う、約束やきまりを守るという態度が育成されるため、適切であるという理由で選定しました。

教育振興会会長

7月の西日本豪雨では、いろいろなことがあったと思います。今回のことを忘れず日常に感謝し生活していきましょう。卒業生のなかには、就職先への交通手段が途絶えて、家族の送迎では×ということがあったようです。緊急時とはいえ、なかなか難しい日々が続きました。

“天災は忘れた頃にやってくる”といわれていましたが、最近では忘れないうちにやってきました。今回の台風21号では、死者も出ています。今後、このようなことがあるかもしれないと、肝に銘じて、学校から自宅に帰る間に何かあったときのために、子どもと連絡がとれる、お父さん・お母さん・家族の人も、何かあった時にここにいるという約束事をするなど家族で、考えてほしいと思います。

成人期以降の問題行動があるということで、相談に来られるかたが多いです。子離れ・親離れがうまく出来るようにしていきましょう。問題行動が始まると、手が付けられなくなり、結局は怖くなり子どもを離すというのをよく聞きますが小さい時から良いこと・悪いことを伝え、子どもを認めるということをしていきましょう。自分が子どもの頃に親から言われた時に感じた想いを、子どもたちも感じています。ある時期になれば、まわりと相談しながら子離れをする準備をしていくことが大事だと思います。大きくなったから子離れ、〇歳になったから子離れ、ではなく、我が家流の子離れを我が家流ですすめていくことが大事かなと思います。

各専門部の活動について

<<文化部>>

- ・7月にPTA新聞『ひまわり』第85号を発行いたしました。御協力いただいた皆様ありがとうございました。是非御感想や御意見をお聞かせください。

<<生活部>>

- ・6月17日(日)に行われた日曜参観後の環境整備では、71名の保護者の方々に集まっていただきました。御協力ありがとうございました。作業内容について、どの辺りを重点的にしたらよいか分かりにくい部分があったかと思しますので、図等でわかりやすくしたら良かったと思いました。
- ・第2回環境整備を10月15日(月)に行います。予備日は10月17日(水)です。
- ・給食試食会を10月26日(金)に予定しています。詳細は後日プリント配布にてお知らせします。

<<研修部>>

- ・第2回研修会は、西日本豪雨で何も準備が出来なかったこともあり、例年10月に行われていたのを、11月に行えるよう準備していく予定です。

<<執行部>>

・第2回学習会について

9月19日(水)10:00～ 講師に社会保険労務士の畝田谷栄子先生をお迎えして、障害基礎年金の制度や仕組み、受給手続き等をわかり易くお話いただきます。

・県特別支援学校協議会意見交換会アンケート集計結果について

毎年11月頃、広島県特別支援学校PTA協議会の役員が教育委員会へ出向き意見交換会を行っています。これについて夏休み明けすぐにアンケートを配布させていただき、回答いただきました。

アンケート結果について、御意見の多かった順に

1. 作業療法士、理学療法士、言語聴覚士の充実及び外部専門家の導入
2. 職業体験の充実
3. 教員（臨時的任用職員等を含む）の専門性及び授業力を向上させる研修の充実

その他・・・小学部からのキャリア教育の推進

これらを呉特別支援学校として報告したいと思います。内容についてはまたお伝えしたいと思います。

・呉地区高P連研修会

9月8日(土) 広島県立呉南特別支援学校にて開催されます。参加予定なので、感想等は次回お伝えしたいと思います。

・第1回学校関係者評価委員会

6月27日(水)にありました。授業参観をしたあと、学校の説明等があり、学校経営計画や学校研究計画、学部行事等の説明をしていただきました。外部からも6名参加していただき、意見交換をしました。他の学校をたくさん見られている先生から、呉特支はいろいろな面ですごく伸びていて、素晴らしいというお褒めの言葉をいただきました。次は10月にあるので、またお伝えしたいと思います。

・文化祭について

・11月10日(土) 開催予定です。

・文化祭PTA出店内容について

(1)役員：パティオカフェのコーヒー抽出、ジュース販売、フレッシュバッグの販売。

※フレッシュバッグは第3弾の新パッケージの予定、PTAの収入にはなりません。

(2)執行部：弁当の販売

・文化祭 警備について

不審者対策として警備等の御協力よろしくお願い致します。

その他

・夏休みの様子などについて[感想]

- ◆西日本豪雨で、いきなり長い夏休みになり、学校に行く前日にプチパニックをおこし、かばんを隠したり等の些細な抵抗をしたりしていたのですが、何事もなく行ってくれました。バスのルートが変わって、時間がかかるので心配していましたが、乗って行けているようで安心しました。
- ◆今回の災害で、矢野に住んでいた友人を亡くしました。逃げている途中で土砂に巻き込まれてしまいました。普通が普通ではなく、いろんなことを考えさせられました。
- ◆“当たり前の生活”が送れる有り難さや、学校の先生やデイのスタッフさん等、関わってくださる方々のやさしさを感じました。
- ◆担任の先生が毎日電話をくださり、本人と代わって先生とお話をさせてもらおうと、「先生とお話しできた」とずっと言って、すごく嬉しそうでした。ヘリの音や町内放送の音やテレビの報道等で、本人もストレスを溜まっていたようですが、ほんの少しのことでも嬉しい気持ちになるのだと思いました。
- ◆疲れから発作が起きてしまい、久々だったのでびっくりしました。発作中は息も出来ないの本人はかなりしんどいと思います。それを見守るだけの何も出来ない自分もつらく、発作が起きた時間になると胸が締め付けられるようで苦しくなります。
- ◆災害では、町内が大変なことになり、町の機能もストップして大変な夏休みでした。本人はニュースで町内の映像が流れたときに、なぜこんなことが起こったのだろうかや興味があったのか、災害の場所へ行ってみたいです。まだ命の危険があるような時期だったので、帰ってきたときにまだ行かないでと説明し、しばらくは家の中で過ごさせるようにしました。本人はボランティアに行きたかったようなのですが、私が付いていけなかったので参加出来ませんでした。
- ◆成人の方で、事業所等に通えない人がたくさんいると聞き、保護者たちでデイサービスをひらきました。老人施設を借りたり、町の施設を借りたりしました。本人も利用者であり、ボランティアとしても参加出来たらと思い、必要なものを取りに行ったり等の手伝いや、周辺の作業所から仕事をまわしてもらったものをしたり等、充実した夏休みになったのではないかと思います。
- ◆矢野峠にある看板が好きで、通りたいのに通れないことに混乱していました。映像等を見せて工事中で通れないと説明をしたり、途中まで行って通行止めになっていることを見せて通れないことを説明すると、なんとなく理解をしたようで、諦めました。
- ◆幸いにも今回は被害にはあいませんでしたが、知り合いの家が被災し、片付け等を手伝いながら、障がいのある子をかかえながら片付け作業等が出来るのだろうか等、考えてしまいました。
- ◆“避難行動要支援者”という制度があります。普通の避難所では過ごせない人たちは福祉避難所に優先的に移動させてもらえたり、事前に登録しておくで早く行動してもらえます。登録するには決まりがありますが、お住まいの市町に確認してみるのも良いかと思います。
- ◆近所が土砂災害にあい、半壊等の被害にあわれました。家族で土砂の撤去作業等のお手伝いに行きました。暑いなか、慣れない作業で疲れていたと思うのですが、近所の方やボランティアの方にもまれながらコミュニケ

ーション能力はあがったと思います。豪雨災害の後の台風のときに、自分から「大丈夫でしたか？」と話しかけたりしていました。今までは自分から話しかけることはなかったのに、自分からやってみようという行動が出てきたのはうれしいことでした。

- ◆同じ地域に住んでいて、近所にどんな人がどんな生活をしているかを知らないのだと感じました。近所の精神障害のかたが住んでいる家が被災されました。地域ボランティアが何をしましょうかと聞くのですが、何をしたいというのをうまく伝えられず、自分から言えばいいのにと近所のかたがおっしゃられていました。ご本人は仕事があるから作業所に行きたいとっていて、近所のかたはなぜ災害にあつてボランティアがきているのに、仕事を休まないのだろうかと言っているのも聞こえました。あまり関わりがないと近所のかたでも知らないことがあるので、お互いに知って、生活できれば良いと感じました。
- ◆自力通学にむけて、夏休み中にJRに乗ろうと思っていたのですが、出来ませんでした。今は運行しているので、また改めて挑戦しようと思っています。
- ◆災害が起きた夜、主人が熊野道路手前で立ち往生となり、15時間後に帰ってきました。自宅裏に山があるので、避難所に行くかどうか、すごく迷いました。多動とパニックがある子どもを連れていくのは難しいと思いました。後から冷静に考えると、避難所の駐車場で車のなかで待機するという手もあったなと思いました。
- ◆今回は被災していませんが、なにかあった時に子どもと一緒に、ずっと動けず、水も食料も取りに行けない状況になるなと思い、そうなった場合どうしたらよいのだろうと考えました。4年前の広島土砂災害の時は、早い段階で障害等のある子どもを預かってくれるデイサービスの情報がテレビ等で流れていました。県知事が早く働きかけてくださったみたいです。今回もあるかなと思ったのですが、それどころではなかった状態のようです。
- ◆子どもは、まわりの不安定な雰囲気を感じているのか、排せつ面で失敗がおおくありました。
- ◆避難所へ避難し、その数日後に実家に避難しました。今は仮住まいですが元の地区に戻ってきました。子どもはデイサービスが毎日実家まで来てくれて、元気に通わせてもらいました。慌ただしい夏休みだったのですが、子どもは体調も崩さず、学校にもスムーズに通ってくれて助かっています。ただ、好ましくない癖が出ていて、言葉では表現できないぶん、ストレスが行動に出ているようで心配しています。早く元の生活に戻りたいと思っています。
- ◆子どもが3人いるのですが、携帯アラームやサイレンが鳴っている状況に対しての反応が3者3様で、敏感に反応してパニックを起こす子もいれば、無関心・無反応な子もいたり、見せる反応がそれぞれなことが発見できました。
- ◆大量の雨が降り、避難指示も出ていたのですが、道路も冠水し薄暗くなっていたので、動かないほうが良いと判断し、自宅にいました。マニュアル通りには動けない時もあるのだと思いました。
- ◆社会復帰を目指す方等のデイケアに勤めているのですが、自炊が出来ない方が多く、お弁当給食を頼まれている方が多いのですが、業者さんが被災され、ご飯が届かなくなってしまいました。そこではじめて、缶詰が開けられない、電子レンジが使えない等がわかりました。インスタント麺を食べていたのですが、体重が増えてしまいました。子どもたちにも、イレギュラーな時に出来ることを増やしていかなければいけないと感じました。
- ◆仕事中に、自宅近くの川が氾濫しました。主人と子どもたちが自宅にいたのですが、すぐに主人が対応してくれて、近くのスーパーに逃げ出すことができました。土砂が流れ込んでくるまえに避難できたので、子どもたちは無事だったのですが、自宅前は土砂があふれ、立ち入り禁止になっていました。子どもたちもずいぶん我慢してくれていたのですが、限界だったので、自己責任で帰らせてくださいとお願いし、帰りました。
- ◆夏休みから放課後デイサービスを利用し始めました。思ったより楽しく通えているので良かったです。
- ◆災害後に学校が再開した時に登校しました。学校には来たのですが、クラスの他の子はいないことに違和感を感じたのか、癖が強くなるようになりました。学校が始まって落ち着くかと思っていたのですが、まだ癖は出ているようです。
- ◆災害時、主人が夜勤でいなかったので、子ども3人と自分で家族会議をしました。近所の方たちが避難するか相談し始めた時に、主人がいないので避難する時にはうちにも声をかけてくださいとお願いしました。近所付き合いはなかなかないのですが、障害を持っている子がいることは普段から言っただけですが、お願いすることは必要なことなのかなと強く思いました。

次回の役員会は 10月10日(水)10:00~ です。